

第644号 2013年6月2日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか!

志村 たかよし です

区議会 全員協議会 宮城県石巻市視察



取り壊し中の 石巻市立病院（左）と石巻文化センター（中）＝門脇小学校前から



たくさんの鯉のぼりに囲まれていた「がんばろう! 石巻」



まだ野ざらし状態になっている被災した消防車

東日本大震災から2年3ヶ月たちました。大きな被害を受けた宮城県石巻市は昨年4月に中央区と「災害時相互援助協定」を締結しています。

中央区議会は、5月25日と26日にかけて、全議員を対象とする「全員協議会」による石巻市の行政視察を行いました。津波で破壊されたほとんどの家は片付けられていましたが、コンクリートの土台は残ったままで、青く静かな海が見える被災地は緑の草に覆われていました。

道路の整備は進んでいても、住民生活の確保はまだまだ手つかずの状態です。



校庭に建つモニュメント（右）。手をつなぐ子どもたちが描かれた壁が痛々しく言葉が出ません＝大川小学校

大川小学校で献花

大川小学校では、鎮魂の献花をおこないました。多くの児童が亡くなった小学校は、小さな校舎でした。

この場所には、子どもを亡くした親御さんが、毎日、誰かしら訪れているそうです。

この日は、地元の卒業生の方が掃除をしていました。「ここにたくさんの死体があったのです」



花やお菓子が手向けられている大川小学校

「復興といっても若い人たちが町を離れてしまい先が見えません」

「みなさん、どうしたらいいのでしょうか。教えてください！」と悲痛な声で訴えられました。

それは重く胸に響き、私たちは、声を出すことができませんでした。住民が主人公となる復興が求められています。

門脇小学校で元校長の話聞く

裏手にある日和山に避難して難



当時の状況を話す鈴木元校長＝門脇小学校

を逃れた門脇小学校を訪れた時は、当時、校長をしていた鈴木洋子さんからお話を聞きました（写真）。今でも、そのときの音が聞こえるそうです。

コミュニティラジオの役割

災害時に安否確認や情報を流し重要な役割を担った「ラジオ石巻」の鈴木孝也取締役相談役（写真）から「災害時におけるコミュニティラジオの果たす役割」をテーマにした講演を受けました。



ショックだったのは、昨年、人員削減をしたということ。

災害に対応するためには体制強化が必要なのにな…。

これはラジオ石巻だけの課題ではないはずです。国や行政の支援が求められています。

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(020-6000-6000)